

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月29日

計画の名称	島内、各離島間、県本土・県際間の連携強化により人・物が活発に行き交う快適で活力ある奄美地域の形成に資する港湾の老朽化対策及び減災・防災対策の推進（防災・安全）（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	鹿児島県, 宇検村, 瀬戸内町, 和泊町												
計画の目標	・老朽化した港湾施設の長寿命化など計画的・戦略的な維持管理を行うとともに、災害等に対する防災・減災対策を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,607	A	1,322	B	0	C	285	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	17.73	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R3末
1	・名瀬港において耐震強化港湾施設の整備により大規模災害時に安全が確保される背後圏の人口数を拡大する。【災害に備えた施設整備】 災害に備えた施設整備 名瀬港に耐震強化港湾施設の整備により安全が確保される背後圏の人口数（港湾計画に基づく）	0人	0人	0人
2	・外郭施設や係留施設等を実施し、利便性・安全性の向上を図る。【港湾の利便性・安全性の向上】 港湾の利便性・安全性の向上 「施設の整備率」=（評価年度における整備済施設数 / 整備すべき施設数）× 100（%）	0%	0%	0%
3	・奄美各港において防波堤の整備により異常時に避難係留可能な係船岸の増加を図る。【小型船だまりの整備・利便性向上のための改良】 小型船だまりの整備・利便性向上のための改良 異常時に安全に係留できる船隻数	0隻	0隻	0隻
4	・奄美各港において施設の効用が失われる時期を延伸するため、機能の改良を行い、施設の維持を図る。【既存施設の延命化のための改良】 既存施設の延命化のための改良 「既存施設の機能障害安全率」=（評価年度における機能上支障が施設数 / 延命化改良計画を行う各港の全利用施設数）× 100（%）	0%	0%	14%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	名瀬港 岸壁(-6.5m)(耐震)	照明施設	奄美市/名瀬港 ・本港地区						40	-	
	A02-002	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	名瀬港 緑地	面積 A=20,000m2	奄美市/名瀬港 ・本港地区						190	-	
	A02-003	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	名瀬港 道路(J)	幅員 D=6.5m, 延長 L=510m	奄美市/名瀬港 ・本港地区						58	-	
	A02-004	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	建設	湾港 防波堤(西)(改 良)	延長 L=330m	喜界町/湾港・ 湾地区						462	策定済	
	A02-005	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	与論港 岸壁(-5.5m)(改良)	嵩上工 L=90m	与論町/与論港 ・茶花地区						32	策定済	
	A02-006	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	建設	和泊港 防波堤(内)(B)	延長 L=30m	和泊町/和泊港 ・和泊地区						194	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	名瀬港 佐大熊線(改良)	転落防止柵補修工 L=270m	奄美市/名瀬港 ・佐大熊地区						5	策定済	
	A02-008	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	改良	名瀬港 本港1号線	舗装補修 L=225m	奄美市/名瀬港 ・本港地区						15	策定済	
	A02-009	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	古仁屋港 物揚場(-2.0m) (改良)	エプロン打替 L=70m	瀬戸内町/古仁 屋港・生間地区						5	策定済	
	A02-010	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	古仁屋港 浮棧橋(改良)	連絡橋高欄・屋根取替、連絡 橋防食 1式	瀬戸内町/古仁 屋港・油井地区						20	策定済	
	A02-011	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	古仁屋港 浮棧橋(改良)	連絡橋高欄・屋根取替、係留 柱・吊架台・連絡橋防食 1 式	瀬戸内町/古仁 屋港・渡連地区						70	策定済	
	A02-012	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	湾港 岸壁(-7.5m)(改 良)旧岸壁	上部工・エプロン補修、付属 工取換 L=155m	喜界町/湾港・ 湾地区						33	策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-013	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	湾港 岸壁(-5.5m)(改良)	本体防食・上部工・エプロン補修・付属工取替 L=98m	喜界町/湾港・湾地区						8		策定済
	A02-014	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	湾港 物揚場(-2.0m)(改良)	上部工補修・付属工取替 L=51m	喜界町/湾港・湾地区						2		策定済
	A02-015	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	亀徳港 岸壁(-7.5m)(改良)	エプロン打換・付属工取替 L=160m	徳之島町/亀徳港・亀徳地区						4		策定済
	A02-016	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	亀徳港 岸壁(-5.0m)(改良)	エプロン打換・付属工取替 L=80m	徳之島町/亀徳港・亀徳地区						5		策定済
	A02-017	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	亀徳港 道路(改良)	舗装打換・側溝補修 延長 L=720m	徳之島町/亀徳港・亀徳地区						5		策定済
	A02-018	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	平土野港 岸壁(-9.0m)(改良)	上部工補修・エプロン打替・付属工取替 L=220m	天城町/平土野港・平土野地区						9		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-019	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	平土野港 道路(改良)	歩道・側溝補修延長 L=412m	天城町/平土野 港・平土野地区						3		策定済
	A02-020	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	平土野港 物揚場(-2.0m) (改良)	エプロン打換・付属工取替 L=170m	天城町/平土野 港・平土野地区						6		策定済
	A02-021	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	和泊港 物揚場(-1.0m) (改良)	エプロン部分打換・付属工取替 L=40m	和泊町/和泊港 ・和泊地区						7		策定済
	A02-022	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	和泊港 物揚場(-0.5m) (改良)	エプロン部分打換 L=75m	和泊町/和泊港 ・和泊地区						6		策定済
	A02-023	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	和泊港 道路D(改良)	舗装部分補修 L=271m	和泊町/和泊港 ・和泊地区						6		策定済
	A02-024	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	与論港 物揚場(-2.0m) (改良)	エプロン部分補修 L=50m	与論町/与論港 ・茶花地区						3		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-025	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	与論港 道路C(改良)	舗装全面補修 L=150m	与論町/与論港 ・茶花地区						9	策定済	
	A02-026	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	地方	改良	湯湾港 岸壁(-4.5m)(改良)	本体防食・タイ材取替・エプロン打換・付属工取替・上部工補修 L=180m	宇検村/湯湾港 ・須古地区						102	策定済	
	A02-027	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	地方	改良	加計呂麻港 岸壁(-4.5m)(改良)	本体防食・エプロン補修 N=1式	瀬戸内町/加計 呂麻港・瀬武地区						12	策定済	
	A02-028	港湾	奄美	和泊町	直接	和泊町	地方	改良	伊延港 岸壁(-9.0m)(改良)	エプロン打換・付属工取替 L=190m	和泊町/伊延港 ・伊延地区						8	策定済	
	A02-029	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	地方	改良	亀徳港(岸壁-9.0m)(改良)	エプロン打換・付属工取替 L=220m	徳之島町/亀徳 港・亀徳地区						3	策定済	
											小計						1,322		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		R02	R03	R04	R05	R06														
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	C02-001	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	重要	建設	名瀬港 安全対策施設	安全対策施設（ボーディングブリッジ・連絡橋）	奄美市 / 名瀬港 ・本港地区						285	-		
		岸壁整備に併せ新たなボーディングブリッジ及び連絡橋を整備することにより、人と荷役作業で分離されることで、旅客の安全性や利便性の向上が図られる。																		
											小計						285			
											合計						285			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

鹿児島県土木部港湾空港課において評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年3月

公表の方法

県ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・奄美各港において既存施設の延命化のための改良を行うことにより、施設の延命化が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、港湾の安全性及び利便性の向上を図るため、既存施設の延命化を推進する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	名瀬港背後圏の人口数	
	最終目標値	0人
2	最終実績値	0人
	施設整備率	
3	最終目標値	0%
	最終実績値	0%
4	異常時に安全に係留できる船隻数	
	最終目標値	0隻
5	最終実績値	0隻
	既存施設の機能障害安全率	
6	最終目標値	14%
	最終実績値	50%
7	事業費や施工時期の見直しに伴い、効率的な事業進捗が図られたため。	
8		